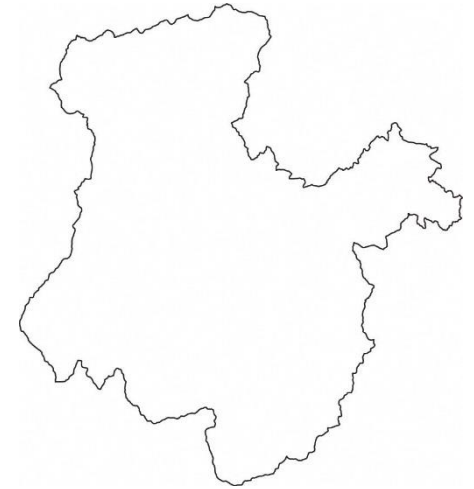


# 第2回県立高等学校改革懇談会 「只見」

- 令和元年8月28日(水) 14:00 ~ 15:30
- 只見高等学校 会議室



福島県教育委員会

# 本日の進め方

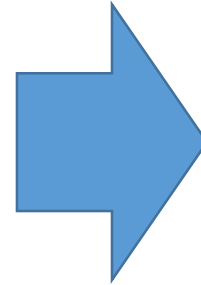
I	<b>只見高校の方向性について</b>
II	<b>第1回懇談会でいただいた御意見について</b>

# **I 只見高校の方向性について**

# 1 県立高等学校改革の基本方針 (第1回改革懇談会資料より)

## 本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・少子化のさらなる進行
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化
- 生徒の学習ニーズの多様化
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生



高等学校改革の  
必要性

県立高等学校改革基本計画 (2019～2028年度) 平成 30年 5月 策定

県立高等学校改革前期実施計画 (2019年度～2023年度) 平成31年 2月 策定

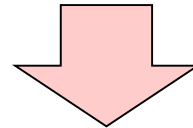
県立高等学校改革後期実施計画 (2024年度～2028年度)

- 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模を **1 学年 4～6 学級** とする。
- **1 学年 3 学級以下の高等学校** については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて **統合を推進** する。

## 2 只見高等学校の在り方について（第1回改革懇談会資料に加筆）

前期実施計画における  
過疎・中山間地域の学習機会確保のための**例外的措置**

- 「地理的条件や公共交通機関の状況等から統合により近隣の高等学校への通学が極端に困難になる場合」
- 「地元からの入学者の割合が著しく高い場合」



2020年度より **1学級本校化**（募集定員40名）を実施し  
**地域協働推進校** に位置づける。

### 3 只見高等学校の方向性について (第1回改革懇談会資料より)

#### 1 学級本校化に向けて検討する特色化の例

丁寧な学習指導  
キャリア教育

地域の豊かな自然や  
文化を生かした  
体験的な教育活動

只見ならではの地域資源を活用

(自然・歴史・文化・観光・地場産業…)

学校行事等における  
近隣学校との交流や連携

探究型・課題解決型  
学習の充実

## **Ⅱ 第1回懇談会でいただいた御意見について**

## 4 第1回改革懇談会でいただいた御意見

### (1) 1学年70名2学級を維持してほしい。

- ・ 只見中学校の1年生が41名おり、只見町の子どもが入学できなくなる心配がある。あと3年待てないか。
- ・ 田島高校と南会津高校の統合により、南郷地区の中学生が只見高校に流れ、志願生徒が増える可能性がある。
- ・ 山村教育留学制度は、留学生と地元出身の生徒が刺激し合い、学びを高め合っている。続けていくためにも定員70名を維持してほしい。



## 4 第1回改革懇談会でいただいた御意見

### (2) 教員数減により、手厚い指導ができなくなる心配がある。

- ・ 只見高校の魅力である少人数のきめ細やかな指導ができなくなる。
- ・ 幅広い学力の生徒に対応した授業ができるか心配である。
- ・ 教員の配置を考慮してほしい。

## 4 第1回改革懇談会でいただいた御意見

### (3) 只見町の次期人材づくりの拠点としたい。

- ・ 只見高校を町の教育の一環と考えている。
- ・ 地域の魅力と課題を自分の問題として考えながら、地域の未来の担い手として成長できる教育の推進に取り組んでいきたい。
- ・ 地域協働推進校として、理系教育の充実を図りたい。

## 5 第1回改革懇談会でいただいた御意見について

### (1) 1学年70名2学級の維持について

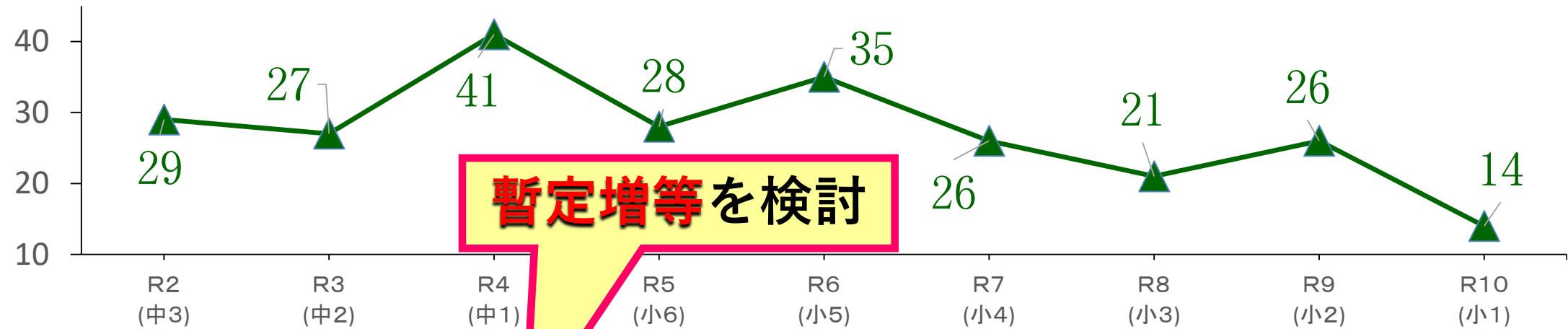
只見中学校から只見高校への進学率（H27～H31）

出身中学校		H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	平均
只見中	入学者数 (人)	24	22	26	27	22	24.2
	割合 (%)	66.7	55.0	65.0	87.1	73.3	68.4
只見中以外の南会津地区	入学者数 (人)	9	4	4	4	2	4.6
南会津地区以外の県内		2	3	4	3	5	3.4
県外		5	7	12	6	5	7
入学者合計(人)		40	36	46	40	34	39.2

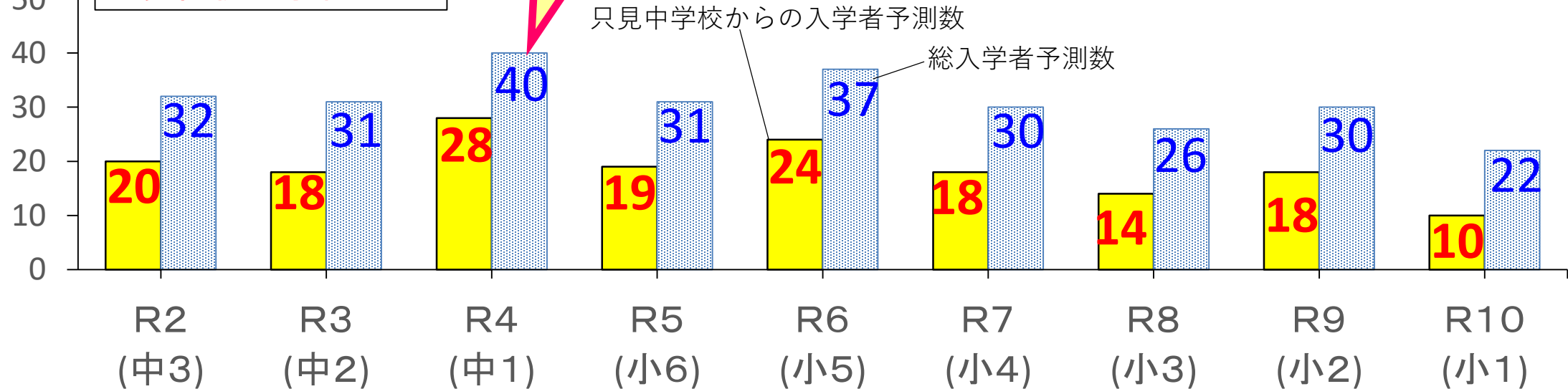
# 5 第1回改革懇談会でいただいた御意見について

只見中学校卒業見込者数

(※R1年度の学校基本統計・福島県の推測人口より資料作成)



只見高校入学者予測



## 5 第1回改革懇談会でいただいた御意見について

### (2) 教員数減により、手厚い指導ができなくなる心配についての対応

#### ◎ 県教育委員会の検討事項

- ① 教員の加配等
- ② ICT環境の整備
- ③ コミュニティ・スクールの導入 等

#### ◎ 県教育委員会と只見高校、只見町との検討事項

- ④ 地域探究・課題解決型学習の充実
- ⑤ 公営塾(町が運営する塾)への協力 等

## 5 第1回改革懇談会でいただいた御意見について

### (3) 只見町の次期人材づくりの拠点について

**只見町を支える核となり、只見町に貢献できる人材の育成**

#### ○ コミュニティ・スクールの導入

##### ・ コミュニティ・スクールとは

開かれた学校づくりの視点から、保護者や地域の方々が参加する学校運営協議会を設置し、一定の権限と責任をもって学校の様々な課題解決に参画する仕組み

# 5 第1回改革懇談会でいただいた御意見について

## 学校運営協議会の主な機能

- 校長が作成する学校運営の**基本方針の承認**をすること
- **学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができること、など



コミュニティ・スクールは、  
地域とともにある学校づくりの有効なツール

地域と学校とが課題や目標の共通意識を深めともに行動

- 地域の方々の学校への当事者意識やモチベーションの向上
- 学校の教育活動の充実

- 生徒の地域の課題発見学習
- 高校と地域の方々が協働して行う探究的な学び

地域に支えられているという実感が、生徒の自己肯定感や地域への愛着、貢献意識を醸成

図 学校運営協議会を中心とした地域と学校の協働のイメージ

## 本日のまとめとして

### ◎ 2020年度より1学級本校化(募集定員:1学年40名)

※ 進路希望を踏まえて **暫定増等** を検討

#### ◎ 只見高校の長所を生かした 特色化

- 多様な進路実績(国公立大学への進学／公務員試験へ合格 等)
- 丁寧できめ細かな学習指導とキャリア指導
- 只見町からの強力な支援
- 豊かな自然環境
- 魅力的な奥会津文化

#### ◎ コミュニティ・スクールの導入

- 地域の資源の活用
- 学校と地域との連携
- 学校と地元企業との連携
- 高校と小中学校との連携